

# 「30年のつき合い」王さんの手紙で実現!! ラジオ対談2時間

# 長渕剛の魂が交わった

# 2度とないこの一球

**病床に詩画贈る**  
 長渕と王氏の出会いは、1982年にTBS系ドラマ「王貞治物語」で主題歌「青春は手品師」を歌ったことがきっかけ。交流を深め05年、福岡での詩画展に当時ソフトバンク監督だった王氏が訪問。06年には、王氏が胃の腫瘍の摘出手術を受ける際に、長渕が病院を見舞って詩

画を贈った。今回の対談は、4月初めに初回放送を聞いた王氏が「命の叫び、聴かせてもらいました」と直筆の手紙を送ったことから実現。番組を愛聴していた王氏にオファーし、快諾を得た。今回、長渕は番組内で「CLOSE YOUR EYES」の弾き語りをプレゼントした。

シンガポール！ソングライターの長渕剛(54)が、全国のラジオ23局で放送中の震災復興支援番組「長渕剛RADIO FOR TOMORROW」明日(30日)向かって(週一回)で、プロ野球ソフトバンクの王貞治会長(71)と対談した。長渕が番組開始直後の4月、親交のあった王氏から直筆の手紙を受け取ったことから実現。「このほど福岡市内で収録が行われ、復興への思いや人生哲学などを熱く語り合った。番組は9月1日から順次放送される。



「鍛えることで何が変わるのでしょうか？」

**質問攻め**  
 「世界の王の前に、長渕は少年のように瞳を輝かせ、質問をたたくかいた。「一本足打法のきっかけは「日本の良さは」父親に抱きしめられたこと」。

王氏は慣れないラジオブースに座り、身振りを交えて盟友・長嶋茂雄氏への思いなどを熱く説明する。和やかで濃密な時間。

**長渕** 鍛えることで何が変わるのでしょうか？  
 王氏の「2度とない、この一球」という言葉が印象に残っています」

**王** 手から血が流れてバットを振ろうが、やるべきことはやらなあかん。我々は、結果でしか評価されない」

野球と音楽。勝負する世界は違えど、長渕も肉体や声帯を鍛え上げてライブに備えてきた。ステージは2度とない。一期一会の場所。結果がすべて。の音楽界で、の上がってきた。王氏の人生哲学に深くうなずいた。



「手から血が流れてバット振ろうが、やるべきことはやらなあかん」

人間力  
 震災後、長渕は自衛隊松島基地を慰問し、王氏も岩手・釜石などで野球教室を開催した。

**王** 逆に活力をもらった。前に向かって進んでいかなないと、人間力の強さを改めて感じた」

**長渕** 漁師さんが「津波のパカヤロー」といって海に出て行く姿に、勇気や力を見せつけられた」

**王** 人は頼りにならない。自分でやるんだと思えば、道も見えてくる。人間って力を持っている」

2人が伝えたいメッセージは偶然にも一致した。

9・7新曲発売  
 ○：長渕は、9月7日に復興支援のためのコーラス曲「TRY AGAIN for JAPAN」を発売する。カップリングに、過激な歌詞のためにNHKに歌唱を止められた曲の新バージョン「お家へかえろう」2011年1月収録。全収益は被災した子供たちに寄付される。なお、ラジオ番組は9月いっぱい終了する。

「人間には底力があるんだ」  
 長渕は「僕の中のヒーロー」と話すのに40数年かかった。世代を超えた人論を聴いた。王氏と会えたことは僕の宝物」と感激しきり。話題は尽きることなく2時間及んだ。王氏からは「長渕さんは若いから、怒った方がいい」「メールを送られた。絆を深めた長渕は、音楽家としてその魂を受け継いでいく。」